



In Session with  
Amanpour



# Contentious and Uncompromising

現代のエジソン？ 狂気の天才？

## 伝記『イーロン・マスク』の 著者が明かす



希代のアントレプレナーの素顔

これほど多くの顔を持つ、超人的なアントレプレナー（起業家）がかつて存在しただろうか。1990年代後半に、のちに画期的なオンライン決済サービスとなるPayPalの原型ともいえるX.comを創業し、21世紀に入ると民間宇宙事業会社SpaceXを立ち上げ、さらにはスポーツタイプの電気自動車を手掛けるテスラ社を創業。最近ではTwitterを買収して自分好みに仕様を変更、さらには名称まで変えたことは誰もが知るところだろう。現在、世界各国で刊行され話題を呼んでいる彼の伝記の著者、ウォルター・アイザックソンがその素顔に迫る。



番組ホスト

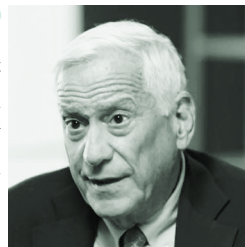
**クリスティアン・アマンプール**

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期はテヘランで過ごした。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻し、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得ている。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を行ったことを発表。現在も第一線で活躍する。

ゲスト

**ウォルター・アイザックソン**

米国の作家、ジャーナリスト。デュレーン大学教授。CNNのCEOやタイム誌の編集長、アスペン研究所のCEOなど、多くの要職を歴任してきた。著名人の伝記作家としても活躍。ステイブ・ジョブズ、アルバート・アインシュタイン、ベンジャミン・フランクリン、レオナルド・ダヴィンチなどを取り上げる。1952年、ニューオーリンズ生まれ。



**59** 世界的に話題呼ぶ伝記『イーロン・マスク』。その著者に聞く



**Elon Musk (in video)**

This meeting may go down in history as being very important for the future of civilization. The reason that I've been such an advocate for AI safety in advance of, sort of, anything terrible happening is that I think the consequences of AI going wrong are severe. So we have to be proactive rather than reactive. There is some chance—above zero—that AI will kill us all. I think it's low, but if there's some chance, I think we should also consider the fragility of human civilization.

- uncompromising:** 《タイトル》妥協のない、譲歩しない
- This meeting:** ▶米上院議員らがIT界の有力者たちを招いてAIについて議論した討論会を指す。
- go down in history:** 歴史に残る
- advocate for:** ~の提唱者、支持者
- in advance of:** ~より前の、先の
- terrible:** 恐ろしい、悲惨な
- consequences:** 結果、結末
- go wrong:** 悪い方向に進む、失敗する
- severe:** 厳しい、耐え難い
- proactive:** 事前に対策を取る、先回りして策を打つ
- reactive:** 問題が起きてから反応する
- chance:** 可能性
- fragility:** もろさ、脆弱(ぜいじゃく)さ
- find oneself...:** 気がつくと自分が...になっている
- (be) willing to do:** ~するのをいとわない
- affect:** ~に影響を与える、作用する
- colleague:** 同僚、仲間
- shadow:** ~を尾行する、追跡する
- ▶ここでは「~に付き添ってその日常を観察する」の意。
- make waves:** 話題となる、世間を沸かせる

**イーロン・マスク (動画で)** 今回の会議は、文明の未来にとって極めて重要だったものとして歴史に残るかもしれません。何か恐ろしいことが起きる前に、AIの安全性を確保すべきだと私がこれほど声高に主張しているのは、AIが間違った方向に進んでしまった場合、その結果が極めて深刻だと思うからです。ですから、私たちは事が起きてからではなく、起きる前に対応すべきです。AIが私たちを絶滅させてしまう確率は、多少なりともあります。0%ではありません。確率は低いでしょうが、その可能性があるのなら、私たちは、人類文明の脆弱ぜいじゃくさについても検討すべきだと思います。

**クリスティアン・アマンプール** 多大な影響力を持つ多くの大富豪と同様、マスク氏もまた、政策、さらには戦争をも左右しようという気も実力もあることを認識しています。私たちの同僚、ウォルター・アイザックソンは、2年間、マスク氏を追い続け、その結果、670ページにわたる伝記を出版しました。まさに話



**Christiane Amanpour**

Like many powerful billionaires, Musk also finds himself willing and able to affect policy, even war. Our colleague Walter Isaacson spent two years shadowing him, and the result is a 670-page biography that is certainly making waves, as we discussed here in New York.